


2018～2019 年度国際ロータリーのテーマ

インスピレーションになろう

 ●会長 白石 繁
 ●幹事 村瀬 直久

 No.1653 平成 31 年 03 月 20 日 第 34 回例会

※例会日 毎週水曜日 12:30～

※例会場 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内

※事務所 〒860-0846 熊本市中央区城東町4の2 熊本ホテルキャッスル内 TEL 354-4521 FAX 354-4053

 ※ URL <http://www.serc2720.org> ※ email serc@serc2720.org

創立 35 周年記念花見例会及び翁力棟くん送別会

■点鐘

■会長の挨拶

(会長 白石 繁)



■奨学金の授与

米山奨学生 翁力棟 君



■記念品の贈呈

米山奨学生 翁力棟 君



■米山奨学生挨拶

米山奨学生 翁力棟 君



■幹事報告

(幹事 村瀬直久)



1)
 熊本南 RC より、2018～2019 年度
 第 3 回 熊本市域ロータリークラブ 会長・幹事会の案内。
 日時 2019 年 5 月 17 日 (金) 18:00～
 場所 ホテル日航熊本 5F 「肥後」

2)
 人吉中央 RC より、創立 30 周年記念式典のお礼。

3)
 熊本 RC より、創立 80 周年記念式典のお礼。

4)
 第 2 回臨時理事会報告。

■今後の予定

3月	3月23日(土)	熊本北 RC 創立 40 周年記念式典	熊本県 熊本市	熊本ホテルキャッスル 福井学、松本繁、村瀬直久、宮川義行、白石繁、内田信行
	3月30日(土)	米山奨学生世話クラブ 説明会	大分県 大分市	ホルトホール大分 内田信行、山田公也、宮川義行
	3月31日(日)	地区研修・協議会	大分県 大分市	ホルトホール大分 山田公也、宮川義行、内田信行、中島祐爾、永野昭一、吉田嘉昭、福井学、松本一也、白木誠一、堤勝也、杉本整哉、前田日出夫
5月	5月12日(日)	会長ノミニ 研修セミナー	大分県 大分市	ホルトホール大分 松本一也
		熊本平成 RC 創立 30 周年記念例会	熊本県 熊本市	A N A クラウンプラザホテル熊本 ニュースカイ 案内中
6月	6月8日(土)			

■出席報告



月日	会員数	出席者数	MU	修正出席者数	出席率 (%)
03月06日	45 (免 2) 43	31	5	36	87.72
03月20日	44 (免 5) 39	36			92.30

☆退 会

03月13日 内田敏視

☆出席免除

03月06日 島村徹男 住江正治

 03月20日 島村徹男 住江正治 鷲山法雲 古庄浩二
 河岸彦治

☆欠席者 7名

03月06日 西村陽介 内田敏視 渡邊一弘 堤 勝也
山坂哲生 山本浩之 前田昭博

今度の100%出席の日は 3月27日です。

■点鐘

編集者 松岡泰光

懇親会

■開会のことば

(親睦・スマイル担当委員 中島 祐爾)

■乾杯

(会長 白石 繁)

■米山奨学生カウンセラー挨拶

山田公也 会員
宮川義行 会員
前田日出夫 会員



■歓談



■中締め

(会長エレクト 内田 信行)

彌富照皇会員&松岡歩紗実会員デビューコンペを開催しました。

2019年3月20日(水) 高遊原カントリークラブ



台湾での水質改善プロジェクト

ロータリボイスより 投稿日: 3月21, 2019

寄稿者: 山内盛利/森 直基 (広島北ロータリークラブ)

3月22日は「世界水の日」です。ロータリーでは、「水と衛生」が重点分野の一つとなっており、世界中のロータリアンが安全な水や衛生設備・教育を提供するなど、水に関わる幅広い活動を実施しています。今回は、日本のクラブがお隣の国、台湾で実施中の水質改善プロジェクトについてご紹介します。



taiwan
花蓮県政府の担当者の方と

台湾東部、海岸山脈の麓にある花蓮県寿豊郷米棧村は豊富な湧水を水源としています。花蓮県政府は米棧村に、その少ない予

算の中から簡易的な取水システムと貯水タンクを設置していました。しかし、度重なる台風や春季豪雨により岩や土砂が流出堆積して、貴重な水源の取水口は度々破壊されてきました。

その結果、現在取水システムは機能不全に陥り、貯水タンクに水は無く、米棧村の8地区、約300名の住民への水供給は止まった状態となっています。これは住民の基本的な生活へ重大な影響を及ぼすと共に、若者の流失や過疎化にもつながり、農業をはじめとする村の産業発展の決定的な阻害要因となっています。

このような米棧村の現状に対して、広島北ロータリークラブ、台北松山ロータリークラブ、花蓮中区ロータリークラブ、広島陵北ロータリークラブが合同で現地調査を行い、切迫したニーズがあることを確認。4つのロータリークラブの合同プロジェクトとして抜本的な取水設備改善計画を立案、実施することにしました。当計画立案に際しての最大のポイントは、若者の定着とそれに伴う米棧村の産業発展に繋げることです。

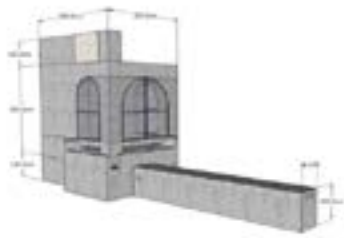
water tank
これまで使用されていた取水設備



また、計画立案に際しては、本プロジェクトを継続可能なものとするべく、実施国ホストクラブである台北松山ロータリークラブと現地に最も近い共同提唱クラブの花蓮中区ロータリークラブが中心となって花蓮県政府の協力を仰ぎ、取水設備完成後の住民主体のメンテナンスおよびそのためのトレーニングを実施する仕組みを作りました。

さらに当プロジェクトに住民が主体的に関われるよう、「米棧村発展協会」を立ち上げ、村長を理事長に任命し、積極的にこのプロジェクトに関わっていただく仕組みを構築しました。またこれらに並行して、良質な水源確保を目的に、水質調査を正修科技大学にお願いすると共に、効率的工事推進のために現地工事業者を花蓮中区ロータリークラブより推薦していただき、実施国の2つのロータリークラブが主体となって業者選定を行いました。

taiwan04
取水設備の完成予定図



現在は、5月15日の完成予定に向けて工事を急いでいる最中です。このプロジェクト成功の暁には、住民にクリーンで十分な水が安定的に供給され、当初の目的である若者の定着並びに産業発展に結び付くことを願ってやみません。

当プロジェクトは、広島北ロータリークラブの50周年記念事業として立案しております。現地の住民にとっても私たちのクラブにとっても、未永く思い出に残る有意義な事業となることを期待しています。

関連記事&ページ

- >> まわりの水環境、どうなってますか？
- >>> 3月22日は「世界水の日」です
- >> 「水と衛生」のページ

まわりの水環境、どうなってますか？

投稿日：1月5, 2018

寄稿者：水と衛生のロータリアン行動グループ
(末部：日本のクラブ活動例をショーケースから転用)

今日、18億人が汚染された水を飲用水としており、コレラ、赤痢、腸チフス、ポリオのリスクに晒されています。



国連は2015年に持続可能な開発目標を定め、極度の貧困をなくすカギとして、安全な水へのアクセス確保を目標に定めました。

グローバルに考え、ローカルで動く

水は河川・湖沼からやがては海に流れ、広範囲の環境に影響をおよぼします。地球規模で考えて、地元で行動を起こしましょう。役所の生活環境課と連絡を取れば、地元のニーズを調べることができます。例えば次のようなニーズです。

- ・レインガーデン（都市型洪水を防ぐ植栽）の設置
- ・河川のゴミ拾いとリサイクル可能なゴミの分別
- ・水辺での固有植物の育成・植樹
- ・環境に優しい、公共樹木の管理サポート
- ・侵略的外来種の水質生物への対応
- ・環境に配慮した水遊具・ボートの推進
- ・非毒性釣り具の推進
- ・地元の河川・湖沼を題材にした小論文コンテスト
- ・きれいな水の恩恵に関する教育プロジェクト
- ・地区内クラブを対象とした水プロジェクト賞

水と衛生のロータリアン行動グループ（WASRAG）は、水と衛生を専門とするロータリアンの世界的グループです。2018年の「世界水の日」（3月22日）に合わせて、地元の水環境を改善するプロジェクトの実施を世界中のロータリアンに呼びかけています。

クラブや地区で水プロジェクトを実施した場合は、その概要、受益者、成果をご紹介ください。応募の際は、地区番号またはクラブ名、提出者情報（氏名、Eメールアドレス、電話番号）もお知らせください。

- ・提出方法：Eメール（info@wasrag.org）
- ・締切日：2018年5月1日
- ・選考・賞：斬新な方法で大きな影響をもたらした2つのプロジェクトを選び、賞金500米ドルを贈呈します。選考結果は2018年5月31日にお知らせします。

受賞プロジェクトは、2018年6月23日、トロントでのWASRAG年次総会で紹介されます。

日本のクラブによる活動



福島中央ロータリークラブ（福島県）は、水質の良さで知られる猪苗代湖の環境を守るため、漂着する水草の回収活動を行いました。

水戸ロータリークラブ（茨城県）は、千波湖の水質を浄化するため、市内の他クラブ、他団体、市役所と協力して、ビオトープ（野生動植物の生息地）を造成しました。



彦根ロータリークラブ（滋賀県）は、ベトナム戦争で使用された枯葉剤による障がい児へのサポートとして、老朽化した手洗所、シャワー、トイレの改修を行いました。

水プロジェクトを実施されたクラブは、ロータリーショーケースへの掲載もご検討ください。

国連の持続可能な開発目標

<http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home/sustainable-development-goals.html>



※アイコンをクリックすると、グローバル目標の詳細がご覧いただけます。

SDGsの目標17項目はどれも、持続可能な開発、民主的なガバナンスと平和構築、気候変動と災害に対する強靭性という、UNDPの戦略計画の重点分野と結び付いています。貧困に関する目標1、不平等に関する目標10、ガバナンスに関する目標16は特に、UNDPの現在の活動と長期的な計画にとって中心的な意味を持っています。しかし、SDGsを達成するためには、複数の目標にまたがって進捗を支援する包括的なアプローチが欠かせません。UNDPはこのプロセスを支援できる独特な立場にいます。

持続可能な開発目標 (SDGs) とは

持続可能な開発目標 (SDGs)、通称「グローバル・ゴールズ」は、貧困に終止符を打ち、地球を保護し、すべての人が平和と豊かさを享受できるようにすることを目指す普遍的な行動を呼びかけています。

これら17の目標は、ミレニアム開発目標 (MDGs) の成功を土台としつつ、気候変動や経済的不平等、イノベーション、持続可能な消費、平和と正義などの新たな分野を優先課題として盛り込んでいます。ある目標を達成するためには、むしろ別の目標と広く関連づけられる問題にも取り組まねばならないことが多いという点で、目標はすべて相互接続的といえます。

SDGsは、パートナーシップと実用主義の精神に基づき、いま正しい選択をすることで、将来の世代の暮らしを持続可能な形で改善することを目指します。すべての国がそれぞれの優先課題や、全世界的な環境課題に応じて採用できる明確なガイドラインやターゲットも設けられています。SDGsは包括的なアジェンダとして、貧困の根本的な原因に取り組むとともに、人間と地球の両方にとってプラスとなる変化の実現に向け、私たちを団結させるものとなっています。アヒム・シュタイナー UNDP 総裁は「2030アジェンダの支援は、UNDPにとって最優先課題のひとつです。SDGsは貧困、気候変動、紛争など、私たちの世界が抱える喫緊の課題のいくつかに取り組むための共通の計画とアジェンダを私たちに提供しています。UNDPには、前進の原動力として、各国が持続可能な開発に向けた道を歩むための支援ができる経験とノ

ウハウがあります」と呼びかけます。

SDGsの背景についてさらに詳しくは、[こちら](#)をご覧ください。

UNDPの役割

2016年1月から始まったSDGsは、今後15年間にわたり、UNDPの政策と資金援助の指針となります。国連の主導的開発機関として、UNDPは約170の国と地域での活動を通じ、SDGsの達成に貢献できる絶好の立場にあります。

私たちの戦略計画は、貧困の軽減、民主的ガバナンスと平和構築、気候変動と災害リスク、経済的不平等という主要分野に重点を置いています。UNDPは各国政府に対し、SDGsをそれぞれの国家開発計画と政策に統合するための支援を提供します。この活動は、ミレニアム開発目標 (MDGs) に基づき達成された前進の加速を多くの国で支援することによって、すでに始まっています。

複数の目標にまたがる活動の実績は、全世界が2030年までに、SDGsに定めるターゲットを達成できるようにするための貴重な経験と実証済みの政策ノウハウを私たちに提供しています。しかし、私たちだけで目標を達成できるわけではありません。

SDGsを達成するためには、将来の世代によりよい地球を残そうとする政府、民間、市民社会、そして市民によるパートナーシップが必要となります。

SDGsに関する資料は、[こちら](#)をご覧ください。



<http://www.jp.undp.org/content/tokyo/ja/home.html>

